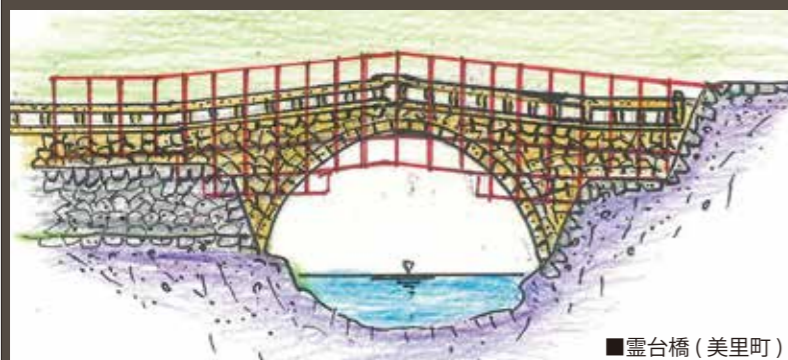


晴耕雨読 71

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
補償コンサルタント登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol.71 NOV 2023 seikouudoku

秋の日はつるべ落としといいますが、瞬間に日が暮れてしまいます。衣替えにも一苦労なこの頃、体調には気を付けてお過ごしくださいませ。



■霊台橋(美里町)



■梓組み足場

上の図は5年に1度、石橋の健康状態を把握するために組んだ梓組み足場のスケッチです。美しい形をした特殊足場ですが、高所作業に伴い、作る職人の腕が求められます。また左図はその断面を示しています。h/n



■柿の木



土木遺産を次世代へ

熊本四街道記念シンポジウムを今年も開催。今年のテーマは「熊本の歴史街道と旅人」。歴史街道の今昔の整備や周辺地域の発展、熊本を訪れた歴史的人物の講演でした。下写真は11/18 土木の日に向けて主催者全員で【CPC(建プロ)】ポーズ。土木の魅力を発信!! t/b



■関係者集合写真

Love of 二俣橋

美里町にある石橋二俣橋良渡から撮った写真です。ハートと足場が同時に写せるのはレア。先の黄葉が色づきはじめてます。h/n



■二俣橋(美里町)

雅なるかな 園遊会

熊本城坪井川園遊会の一環で料亭体験に参加しました。くまもと料亭田吾作で城下町の風情を楽しみました。h/n



■華の宴(熊本市)

道の駅オープン間近!

山都町で現在建設中の九州自動車道山都通潤橋ICが来年2月に開通予定。県内外から多くのお客さんが見込まれます。h/n



■道の駅看板(山都町)

「嘯風弄月」(しょうふうろうげつ) 風に吹かれて詩歌を口ずさみ月を眺める『太平記』の記述からきた四字熟語で、自然の風景に親しみ、詩歌などの風流を愛して楽しむことを言います。秋の情景は四季の見頃のひとつ。忙しくなっていきますが、ふと顔を上げて身の回りにある美しさを噛み締める。そんな息抜きも良いかなと思います。

身近な暮らしへの思い (～秋を楽しむ編～)

Familiar Life

秋を楽しめるかは自分の体力次第!



■久住山(大分県)

登山をおじいちゃんの趣味だと思っていた私。40才にして初登山を経験しました。初めての山登りでは、登り始めて5分で心臓のバクバクが止まらず、怠けた自分の私生活を後悔しました。しかし、自分の足で少しずつ進んだ頂上の景色は最高で、ハマってしまいました。写真は久住山に登った時の紅葉♪一瞬で終わる秋の景色は最高過ぎました!!t/b

早起きは三文の徳



■バルーンフェスタ(佐賀県)

佐賀バルーンフェスタで、嘉瀬川河川敷に設置されたターゲットにマーカーを落とす「フライイン」等のバルーン競技を見に行きました。朝6時には既に多くの観客が河川敷に集まり、ターゲットにマーカーが落とされる度に会場から歓声が沸き、楽しい時間でした!!t/b

秋の味覚いっぱいゲットだぜ!



■収穫後集合写真

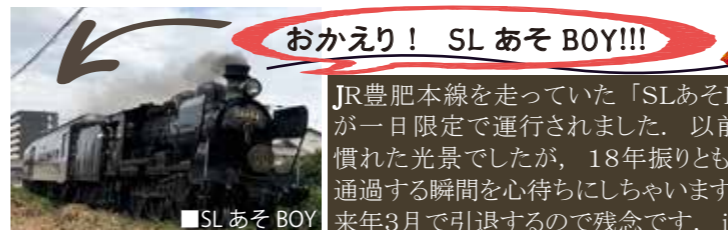
今年も、建プロメンバーで「からいも」の収穫を行いました!老いも若きも張り切って瞬間にコンテナ二つ。得意げに連なった大きな芋をコンテナまで運ぶチビっ子達が微笑ましかったです。農家の齋藤さん、今年も美味しいからいも、ありがとうございます♪♪♪y/s

高知に初上陸せよ!!

重要文化財の土佐神社へ行くチャンスがあり。いざ!木造の鳥居をくぐると、右手に写真の鼓棧。正面に入母屋造りの本殿。土佐のトンボ造りについて宮司さんより説明を頂き。貴重な時間でした。k/n



■土佐神社御社殿(高知県)



■SLあそBOY

おかえり! SL あそBOY!!!

JR豊肥本線を走っていた「SLあそBOY」が一日限定で運行されました。以前は見慣れた光景でしたが、18年振りともなると通過する瞬間を心待ちにしちゃいます(笑)来年3月で引退するので残念です。i/o



■かかし(佐賀) ■紅葉(久住山) ■ドウダンツツジ

【秋の彩】一年の内一番鮮やかな色を感じれる秋はイイですね!

身近な環境への思い (海・山・自然・食に触れる)

Living Environment

天皇も愛した!むべなるムベ

今回は「ムベ: 郁子・萇」について紹介します。ツル植物でアケビに似ていますが、実は裂けません。葉は天狗のうちわ状で木の成長と共に3→5→7枚と増えるため、七五三の木ともいわれます。実を食べた天智天皇が「むべなるかな」と言いその名がついたとされることから、近江八幡市では食用のムベを栽培し、皇室に献上されています。我が家のムベは2個実り、そろそろ食べごろです。a/t



■ムベ

ミニ橋の秘オトモ

仕事柄、橋の模型をよく作ります。橋ができると車に乗せたくるのでサイズ違いの模型をいくつか持っています。一目でわかる車種がいいですね。写真は白磁アーチとスバル360。他にビートル2、ミニ1、ジムニー3うち1台はラジコン。あと、トラッククレーン、これは架設・撤去用です。m/t



■橋と車の模型

五感ヒーリング♪立田山

熊本市北区の立田山は、老若男女の憩いの場となっています。緩やかな傾斜の遊歩道脇には大木が緑のトンネルを作り、時と共に木漏れ日で表情を変えます。紅葉は11月末が見ごろ。常緑樹とともに織りなす景色は、まるで錦絵のようです。これから先の散策が楽しみになりますね。b/i



■立田山(熊本市)



壮観! 下城の大イチョウ

先月、小国町で国指定天然記念物の下城の大イチョウを見てきました。樹齢約千年以上という県内最大級の巨樹で、幹に対し枝張りの大きいその姿は、青空とのコントラストも相まって強く印象に残ります。子宝や良縁を祈願して訪れる方も多いのだとか。皆様も是非足を運んでみてはいかがでしょうか。t/m



■下城の大イチョウ(小国町)

夏の名残, 秋深まる

地元西原村、俵山のふもとにある萌の里には、季節ごとに表情を変える花畑があり、今は秋桜が一面に咲き乱れています。夏の種の残りか、所々遅咲きの向日葵も一緒に咲いていました。夏と秋の代表が同居する光景は、面白くも思いのほかお似合いです。夕暮れ時、萌の里本館前で買った馬肉ウインナーを片手に幻想的な眺めを堪能しました。y/s



■萌の里(西原村)

身近な土木文化への思い (暮らしを支える風景)

Civil Engineering

利用者の安全を守る

道路附属物点検は、道路照明や標識等について、損傷等の有無や進行性等の診断を行います。結果は施設の補修や更新の資料となります。道路上の作業となるため、夜間に車道交通規制をします。JR線と近接する区間がありましたが、無事故で点検を終えました。k/t

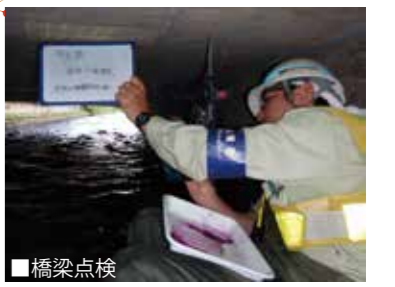


■JR線近接箇所での点検状況

■見張員等の配置

橋梁保全の負担軽減

橋梁は5年毎に点検を行い、損傷状況を把握、補修の必要性を検討し、記録します。補修が必要な場合は、詳細な調査から工法等を検討します。近年は予防保全が主流となり、コスト削減や期間短縮などが期待されます。またICT機器等の新技術も登場し、作業者の手間を削減する試みが行われています。k/s



■橋梁点検



球磨川橋梁復旧だより 球磨大橋

球磨大橋は、昨年台風第14号で橋脚が沈下し全面通行止めとなりました。技術検討会で鋼3径間連続トラス橋+鋼単純鋼床版箱桁橋として補修することが決まりました。旧橋の橋脚基礎周辺は洗掘されやすい地盤のため、新橋には長期間安定するよう地盤を選定しました。下図はイメージ略図。基礎形式はニューマティックケーソン基礎となりました。n/s



■球磨大橋完成予想スケッチ図

球磨川

地すべり地の道づくり

現在、工事用(管理)道路の設計に取り組んでいます。地すべり地帯を通るため、普通の道路と比べて切土高や盛土高を大きくしないように留意する必要があります。ルート選定はベテラン技術者に助言をもらいながら、検討を重ねました。地形を加味した設計の難しさを学びました。r/k



■地すべり地境地踏査

後書き: 毎年この時期は秋の味覚でほくほくの私です。入社してから早8か月。本紙作成をはじめ、新たな体験も多くあっという間でした。伝える、伝わる、わかりやすくという誌面デザインは、閲覧する相手のことを念頭に置いたコーディネートという点で、試行錯誤の中で、趣味の絵とは全くの別物だなあと痛感しています。先輩を見習って、日々精進致しますよ! 猿渡